



日本経団連前で違法解雇、賃上げを要求する労働者たち、1月14日。



416

編集発行人 針谷宏一  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
http://www17.plala.or.jp/chian  
定価 50円

## 政治をかえる歴史的反撃の年 同盟運動の前進で情勢にこたえよう

アメリカ発の世界の経済危機のただなかで、オバマ米大統領の誕生。深刻な格差と貧困の是正、地球的規模の軍事干渉政策から平和政策への転換など、世界があげてオバマにチェンジを期待したのも当然です。

バラク・オバマに送る日本国民のメッセージは、巨視的にみて、なによりもまず半世紀以上にわたり、社会進歩を妨げてきた屈辱の日米安保条約廃棄、侵略的な軍事同盟から平和的な友好同盟へのチェンジです。ちょうど来年二〇一〇年は安保改定五〇周年、再来年は安保締結六〇周年です。

日本の経済危機は、真つ先に「派遣切り」から始まり、日比谷公園には一夜にして五百人も職なき、家なき人びとの救いの「派遣村」となった異常な年明けでした。春までに四十万人以上もの人々が職を失う見通し(業界団体試算)という「ルールなき資本主義」と、それでも国民のくらしを顧みない自公政権の政治の姿がだれの目にも明らかになりつつあります。

労働者・国民の雇用・くらしをまもる昨年からのたたかいは、今政治をかえる大きな流れになりつつあります。国賠署名を持つて、田母神発言などの改憲策動、日本共産党ピラ配布弾圧事件にひそむ治安維持法体制再現の危険を打ち破り、きたるべき総選挙で同盟要求支持の勢力を前進させましょう。

### 主 な 記 事

中央常任理事会議開く……………	2
山宣の最後の「演説草稿」を読み解く……………	4
顕彰碑/先覚者 森近運平の記念碑・岡山……………	5
時の焦点/オバマ米大統領就任……………	5
抵抗の群像/亀戸事件の犠牲者 加藤高寿……………	6
同盟歌壇/碓田のぼる選……………	7
書棚/「キムはなぜ裁かれたのか」 内海愛子……………	7

# 情勢にふさわしい同盟活動の前進と、 総選挙勝利に全力をあげよう

## 一月常任理事会開く



一月常任理事  
事会が一月二  
十三日開かれ、  
情勢にふさわ  
しい同盟活動  
を前進させ、  
来るべき総選

生政権。「年越し派遣村」に見ら  
れる国民のたたかひの前進。

2、大企業の期間従業員、派遣労働者に対する中途解雇、雇い止めなどの大量解雇に反撃が始まった。

3、田母神俊雄前空幕長の侵略戦争美化論、海賊対策口実にソマリ

アへの自衛隊派遣。最高裁で大詰めを迎えた葛飾ビラ弾圧事件。横浜事件第四次再審請求に対する横浜地裁の「裁判のやり直し」判決。

名古屋高裁は、空自のイラク空輸は憲法違反と断罪。「蟹上船」ブームに象徴される、苛酷な労働・生活条件と反貧困のたたかひの前進。

これらの情勢にこたえる同盟活動の前進が求められている。

、運動の到達点と当面の方針

1、治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を要求する活動。犠牲者名簿の作成を二月から開始。五十万署名は年末の三〇％目標を達成したの、十県（青森、岩手、秋田、山形、群馬、山梨、岐阜、滋賀、

鳥取、岡山）。一月一日現在十一万余（二一・九％）、三月十五日までに六〇％達成する。大胆に労働組合・民主団体へ申し入れる。

地方議会への請願・陳情。山形県山辺町議会、兵庫県尼崎市議会に続いて北海道根室市議会で請願を採択、合計三五四自治体に。

2、治安維持法犠牲者の顕彰活動。今年山本宣治没後八〇周年。京都で五月記念集会。広島では「聳ゆるマスト」の碑建設。映画「鶴彬こころの軌跡」が完成。3・15記念集会や多喜一祭を成功させる。

3、一万六千人の会員拡大目標の早期達成を。一月一日現在の到達は一万四五七五人。兵庫県が五〇〇人を突破。福岡・京築支部は、昨年四月に支部を結成、四人から三七人へ前進。県本部は、支部を基礎にした活動の経験に学び、指導・援助を強める。

4、国際活動。「国際水準から見た日本の人権」シンポ。2月28日、東京・文京区民センター。最後に政府への抗議「海上自衛隊のソマリア沖派遣をただちに中止せよ」を採択して閉会しました。



平和・連帯の旅でベトナムへ行ってきました。参加者全員が「ベトナム反戦運動」の体験者、「アメリカと闘った同胞気分」で過ごせた一週間。レストランなどで「自由ベトナム行進曲」を歌えば会場は「連帯の場」となりました。クチでの「烈士の墓」では、ベトナム解放を共に闘った「残留日本兵」を含め一万数千名もの墓が並んでいました。ここで東京の女性部からの「千羽鶴」を納めました。退役軍人のみなさんとの懇親会には、学生時代捕えられ、コンソン島の監獄で「子供を産めない体にしてやる」とばかりの過酷な拷問と不屈に闘い、解放後結ばれた「ロマンスの持ち主」ツイーさん夫妻がお見えになり、「いまは一人息子と幸せな日々を過ごしている」と誇らしげに語る笑顔が印象的。世界遺産クエ王宮をはじめ、いたる所に残る戦争の傷跡。オバマ米大統領はこの侵略と戦争犯罪にどう決着をつけるのだろうかとの、思いをはせる旅でした。（池）

# 今日の情勢の特徴 と同盟の独自活動

中央本部会長代行

神戸 照

(一月常任理事会  
での発言の要旨)

今日の世界と日本の情勢は、大きな変わり目にある。

米国の一国覇権主義は終末を迎えた。昨年十二月、ブラジルで開かれた中南米・カリブ海首脳会議には、米国とカナダを除く南北米大陸の三十三カ国が参加、三月に中南米カリブ諸国機構を設立する。アジアでもヨーロッパでも一國で世界を支配する時代は終わった。一昨年の参院選で、憲法九条改悪と戦後レジームからの脱却を掲げた自公政権は、歴史的敗北を喫した。その後の政権たらい回しの結果は、麻生内閣の支持率が二〇%を割り、不支持は八〇%にまで



落ち込んでいる。その根底には、くらしと権利を守る国民的な反

撃の展開がある。

昨年末、日比谷公園の「年越し派遣村」は、いままで個々の労働者のたまたかいで解決できなかった問題が、政治を動かす解決の方向に向かった。派遣労働者は三十もの労組を結成した。

この今日の事態をどう見るか。

品川正治さん(経済同友会終身幹事)は、「労働者と企業と両方あつてこそ資本主義。若い人が多い非正規労働者の状態が、このまま続いていくならば、日本資本主義がもつてしまう」と告発した。資本家は労働者を雇って働かせ、剰余価値を生み出し、利潤を追求する。これが資本主義である。

ドイツでは政府が大企業三十社と会合してリストラはしないことを決めた。フランスではルノーがリストラを計画したら、ボエキ雇用相が「大企業で資産があるのにリストラとは論外だ」と批判して中止に。スペインでは、日産バルセロナ工場がリストラを進めようとしたとき、セバスチャン産業商務相が解雇計画を撤回させた。オランダの場合は、派遣労働者が解

雇になつても失業保険が三年間ある。これでこそルールある資本主義だ。

日本の大企業は、内部留保を〇八年八月までの十年間に三二兆四〇〇〇億円増やし、一〇九兆一五〇五億円溜め込んだ。これに手をつけないで、すべて犠牲を労働者に転嫁しようとしている。

東京で映画「蟹工船」上映に三千人も入り、急ぎよ二週間続映という。文庫「蟹工船」は七十万部突破ともいわれ、流行語大賞にもミネートされた。「蟹工船」は治安維持法下では国禁の書。持っているだけで特高に検挙された。それだけに、若ものの中で大きく広がっている。こうした情勢に私たち同盟運動の現状はこたえきれていないと言えるだろうか。

「蟹工船」を知る人びとでも、小林多喜二が治安維持法で虐殺されたことを知る人は少ない。再びこんな社会にしてはいけないという悪法治安維持法の告発は、われわれ同盟しかできないし、それは創立四〇年の同盟の歴史的使命だ。政治を変えようという大きな情

勢の変化のなかにあつて、この現状を直視し、その立ち遅れを克服する奮起が求められている。

この二、三年、五十万をめざす国賠署名が、参加会員も四〇〇〇%にとどまり、低迷している。

今日の情勢にこたえるには、百万、二百万の署名の展望と世論づくりで国賠要求を実現するという大志をあらためて持つことが重要ではないか。署名も会員も、減らなければいいという現状維持の考えがあるとすれば、私たちはこれをただちに克服し、情勢にこたえる考え方、立場に立つことが必要だ。

二つ目は、独自活動の問題として、例えば選挙闘争に参加しても、同盟自身の要求を支持する勢力の前進と結び、署名・会員拡大をいかなるときでも追求していく意志を全会員の認識にすることが重要。

昨年末までの署名目標三〇%は、一〇県が達成、到達は全国平均二二%で、まだ支部・会員一人ひとりの目標になりきっていない。情勢の大きな変化にこたえ、支部、役員会でも大胆な討論を起こし、署名・会員の拡大目標をやりきろう。

ことしは山本宣治没後80年・生誕120年。日本近現代史の上で重要な意味をもった年です。

山本宣治代議士(以下「山宣」と略す)は一九二九年三月五日、治安維持法のさらに最高死刑などの大改悪を、天皇の緊急勅令で強行した、その事後承諾を求める帝国議会(第56議会)本会議で、それに真向うから反対するために議場に臨みました。しかしそれは果たすことができずその晩、定宿の神田光栄館に侵入した右翼暴漢黒田保久二の凶刃に倒れました。

死後発見されたその演説草稿

《治安維持法改悪反対》前衛虐殺

法反対》は、戦前日本の大資本・大地主が労働者農民の膏血を搾り尽くし、その搾取の体制を、天皇絶対の「国体の擁護」の名で手厚く援助し、それへいささかでも楯突く者へは「乱臣賊士」の名で圧殺する、その支配の本質を歯に衣着せず暴露し糾弾する内容でした。「草稿」はまず「治安維持法にたいする二つの態度」を析出し、第一の態度は、きわめて反動的なものから単に形式上のみの反対、

「事実上には賛成を唱えるものに至るまでの一切を包含」するとし、第二の態度は治安維持法にあくまで反対を唱えるところの戦闘的革命的態度であり、「労働者農民の前衛を殺害しようとする支配階級の反動的テロリズムにたいして……階級的立場から反対するのがこの第二の態度の本質的な方向」と明快に論じています。

## 山宣の最後の

## 「演説草稿」を読み解く



しまいました。すでに山宣とは袂を分かつていた水谷長三郎の、左翼運動を二種類に分けて共産党を軸とする左翼団体は治安維持法の対象となるのは当然だが、共産党と関係ないものは対象外という論理での「反対演説」で終わってしまっただけです。

山宣の演説がもし実現していたら……彼自身が「咽喉を締められ

「一切のストライキをほふり、小作争議を蹴散らし、前衛を虐待する」支配階級は、国体の擁護という中心スローガンの中へ包含してその方便とする、と治安維持法の狙いを衝くとともに、この支配

にたいして「日本共産党こそは、日本無産階級がもつ唯一の政党」とも明記しています。

この山宣の演説草稿には他の七人の無産議員は強硬に反対し、ついに彼の演説も発言も封じられて

ても」と予期していたような事態となつたことは明らかでしょう。四百六十六人の代議士中ただ一人彼の発言はもとよりその存在が「天皇の協賛」の帝国議会にとつては許せないものでした。

特に二月八日の《拷問・不法監禁に対する質問》は政府官憲をして顔色なからしめた、鋭く、綿密な調査の上での追及であり、また山東出兵から中国への本格的侵略戦争に対する糾弾も支配階級にとつ

て容認できないものでした。しかし背後の大衆を信じて単身帝国議会であたたかい倒れた山宣の正しさを、その後の歴史が証明しました。

花を愛した少年期、カナダでの労働と日本を客観視する力、キリスト教徒としての苦惱、科学者としての生活と父母の猛反対をおしての千代との結婚、産児制限運動を通じての労働者・農民との接触と彼らの運動への参加、そして労働党での活躍と代議士としてのたかい。彼の四十年の生涯は、単に文献によるだけの進歩的活動への接近ではなく、自己の直接体験を通じて、それを自己の骨肉として民主主義思想を身につけ、最も戦闘的な民主主義者に成長して行った過程でした。まさに「民主主義と自由のために生涯を捧げた」一生でありました。

いま、山宣が自己の生命を賭けてたかかった目標が、日本国憲法に刻まれていきます。彼の崇高な意志をついでたかかうことを誓いたいと思います。(同盟埼玉・小口巽。演説草稿は『治安維持法と現代』春季号に掲載予定。)

顕彰碑  
探訪

# 先覚者森近運平の記念碑

(岡山県井原市高屋町田口生家跡)



運平が平民社時代の先輩である堺利彦の文字で「父上は怒り玉いぬ 我は泣きぬ 冷めて恋しき故郷の夢」と彫られている。この歌は運平があらぬ疑いで一九一〇(明治四三)年六月に逮捕され、東京監獄に入れられたさい、差し入れられた洋書の表紙裏に、運平が爪で書いたものである。森近運

平が絞首刑にされた、一九一一年一月二四日、三〇歳の若さである。世にいう大逆事件に連座されたのである。歳月は流れ、運平の無実はまだ明らかなり、その先駆的な思想は再評価された。井原市が誇りとする人物であることを確信し、森近運平復権の一翼として、刑死五〇年記念事業(六〇年)の趣旨書を付記したい。

それには、「この事件は、日露戦争に反対し、日韓併合に反対し、平和と人民の生活を守り、搾取なき社会を建設しようとした先覚の人々を天皇暗殺を企てたという名目のもとに一網打尽に逮捕し、極刑に処した上で朝鮮を併合して大陸に侵攻し、中国を侵略する道を切り開いたものですから、この事件を抜きにしては日本の現代史を書くことも語ることもできないのであります」と明記されている。

(岡山県備南支部 佐藤忠男)

日本時間で一月二十一日午前2時誕生したアメリカ四十四代大統領バラク・オバマ。零下七度の厳寒にもかかわらず二〇〇万人の群衆が参集、人口の中で黒人は約一五%、支持率六八%といえ、文字どおり人種をこえての国民的熱烈歓迎でした。

アメリカン・ドリームの再生を夢みて二七歳のスピーチ・ライターに草稿を書かせたという就任演説は、詩的で情感豊かに、これまで掲げてきた選挙公約、いわばオバマ・ドクトリンの誠実な実行を内外に誓うものでした。

そのドクトリンの主な点についてあげてみます。

外交・安全保障ではイラクより十六カ月以内に撤兵し、アフガニスタンへの増派。北朝鮮やイランとの対話交渉。核兵器のない世界と国際紛争の平和的解決への主導性。経済とくらしでは

金融・財政活動の緊急措置

## オバマ米大統領就任

グリーン・ニューディール政策  
中間層・低所得者層の生活支援  
医療制度の改革と充実  
地球環境対策では  
CO2を二〇五〇年までに一九九〇年比八〇%削減

風力、太陽光など自然エネルギーの開発普及  
このオバマ・ドクトリンは、アメリカの富と名誉を失墜させ、世界を大混乱におとし入れたブッシュ政権にくらべ、かなりの転換と新鮮味が実感されますが、その一方で、依然中東での侵略者「イスラエルへの支持」、**「ファシズムと共産主義を同一視して排撃する歴史観」**、**「軍事行動強化による国際テロ対策」**など、

陰の部分も無視できません。今後少壮気鋭の彼の八年の在任が予想されますが、アメリカ覇権主義の元凶の**『軍産複合体』**の専制支配や、**『投機マネー集団』**の暗躍に**対決して、政治公約の進歩的部分を着実に実行するかどうか、世界は直視すべきでしょう。**(元)

## 抵抗の群像



## 「長持」に残されていた記録

## 亀戸事件の犠牲者 加藤高寿

朝鮮戦争時の一九五〇（昭和25）年、隣りの部落にいた先輩の共産黨員と、農作業を終えた夜、

「アメリカは朝鮮から手をひけなどのステッカーを電柱に貼って歩いた時のことだった。「この近くに、戦争前に運動をやって警察に殺された人がいた。東京から大勢の仲間が来て、大変な葬式をやったんだとよ」とその先輩から聞いたことがあり、ずっと頭にこびりついていた。その後、官憲から隠れていた家で座敷にあった本を読み漁っていた時、大正十二年の関東大震災の時、亀戸警察で殺された革命的労働者たちのこと。その中に栃木県矢板町出身の加藤高寿



という人がいたと書かれていた。

一九五五年の夏、私は出身地の矢板に帰ったので、早速調べてみると、加藤高寿は矢板町川崎反町の加藤正躬さんの弟で、兄正躬さんは元気であることが判った。

私の生家の隣り部落で、大きな農家だった。正躬さんを訪ねたら、涙を流して喜んでくれ、長い間ただ一人胸に秘めてきた怒り、悲しみに肩をふるわせながら、全身で語ってくれた。高寿関係の資料は「長持」の中から見せてくれた。

葬式の時の写真など、その中には何通もの弔辞が残されていた。正躬さんは「これは私の目の黒いうちはとっておく」と言っていた。

私はその後、何日も加藤さんの家に通って、これらの資料を書き写させてもらった。

寺の墓地の一角にある加藤家の墓には、槍の穂先の形をした三角

に尖った墓碑（写真）が建っている。「加藤高寿の墓」と毛筆の文字が美しい。「堺利彦書」とあり、側面には大正十四年十二月二十五日建立とあった。これについては、当時の加藤高寿とは切っても切れない南葛の戦友である渡辺政之輔が、「俺が堺利彦に字を書いてもらうから必ず石碑を建てておいてくれ」と、渡政から強く言われて建てられたものだったことだった。

加藤高寿は、明治二十六（一八九三）年五月十日、栃木県矢板塩谷郡矢板町大字川崎反町十四番地（現矢板市）で父市太郎の三男として出生。矢板尋常小学校を卒業後、十四歳で「苦学をしたい」と単身上京し、浅草の化粧品店「百助」の小僧。その後新聞配達、自由労働者となり、立教中学に入り、正則英語学校の夜学にも通ったが、立教中学は四年で放校。府下四ツ木、千種（ホタネ）セルロイド工場に働き、大正八年五月、全国セルロイド職工組合の結成に参加、渡辺政之輔等と共に活動する。その後、「南葛労働会が創立された時その創立委員だった。君は沈勇剛毅の反逆児として、常に南葛の青年の師表であった」（渡辺政之輔より）。「大正十一年九月五日、午前五時、東京府下亀戸警察署内に於いて死亡」（町役場戸籍簿より）。世に言う亀戸事件で川合義虎、平沢計七等虐殺された十名の中の一人。日本共産党は一九二七年、組織再建の時、犠牲者と判明していた全員を日本共産党員の党籍にのせた。（栃木県・小川富弘）

寺の住職さんが過去帳を調べてくれ、「大正十二年九月五日、東京亀戸警察署ニテ死亡、行年三十一歳。十二月二十六日葬式ヲ行ツタ。」ことが判った。

正躬さんは「生前、渡政が矢板の加藤宅によく来ていた。刑務所から出てきても、休養とか言っただけで長く逗留し、書きものなどしていたが、二人とも暴れん坊で、矢板の警察は毎日うちに見張りに来ていた。渡政は、高寿が殺された後も、何度も泊りに来ていた。渡政は本当にいい男だった。生きていたらなあ」と、三十一歳で殺された弟高寿と渡政への限りない愛情をこめての述懐だった。

同盟歌壇

碓田のぼる選

静岡県 江川佐一  
磐田から群馬からともそれぞれに「派遣村」までいかに来るや  
評 「村」にはそれこそ、飲まず食わずで辿りついた人達も。

和歌山県 中平喜祥

田の畔に渋柿一つ残りいてそのまま今年も冬に入りたり

評 「柿一つ」は木守り柿であるう。下旬に作者の想いこもる

東京都 すゞ木すみ江

湿原に季は移るい木枯れたる八島七島風のみを聴く

評 晩秋の湿原の光景。結句「風のみを聴く」は巧みである。

福井県 元山章一郎

先駆けて日経連へ要求書大量解雇にくぎさす志位氏

評 「志位氏」は日本共産党委員長。その先駆的活動への感動。

新潟県 柳川 月

米寿われの懐メロは「原爆許すまじ」「ロシア民謡」「インターナショナル」

評 青春の闘いの、充実した日々之歌こそ、わがナツメロと。

岐阜県 和田昌三

内灘に座り込みせし唄らを思いつつ見る沈む夕日を

評 内灘試射場の反対闘争は、今も生々しくよみがえるか。

新潟県 加茂川はる子

元日の朝の回診を受ける我にドクター、ナースの白衣のまぶし

評 「白衣のまぶしさ」は新しい年の新鮮な感動のよこに。

東京都 山崎 元

押しつまり突如生れし「派遣村」に草の根根つき一条の光り

評 年末年始 社会的事件となつた「派遣村」の運動への期待

書 棚

『キムはなぜ裁かれたのか』

朝鮮人BC級戦犯の軌跡 内海愛子

朝日新聞出版 定価一五〇〇円+税

BC級戦犯裁判で朝鮮人一四八人が戦犯となり、二三人が死刑になつた。その一四八人を象徴した「キム」は、なぜ、何を裁かれたのか？彼らにとつて「戦争犯罪」とは何だったのか？そこにはアジア侵略に荷担した自己の苦渋に満ちた悔恨があり存在をかけた反戦への熱い想いがあつた…(あとがき)。

著者は日本とアジアでの戦争犯罪・戦争責任について、これまで多くの記録をまとめられていますが、本書もまた「キム」に代表される十人前後の朝鮮人軍属(その多くは朝鮮での強制連行・強制労働への拉致を恐れて軍属に志願)の生きざま、とくに東南アジアでの捕虜収容所の監視役を務めたことに対する戦犯裁判の軌跡を克明に追跡して

「上官の命令は朕の命令だ」として、ビンタなど暴力で軍隊規律を強いられてきた「キム」たちにも、捕虜保護の国際条約も教えられず、やはり暴力による捕虜監視が強いられました。

南方の孤島で敗戦を迎えるが、朝鮮独立の運動に参加した一部の人も含めて、BC級戦犯裁判の被告として虐待の罪に問われたのです。祖国朝鮮には戦争協力者として帰れず、日本軍人の恩給も支給されず、戦後補償裁判も立法院判断にゆだねるといふ司法の力べ…。真相を知る貴重な書です。(信)



キムはなぜ裁かれたのか

### DVD「聳ゆるマスト」普及と顕彰碑建設のよびかけ

治安維持法同盟広島県本部呉支部事務局  
日本共産党広島県中部地区委員長 二階堂洋史

昨年十二月十三日、大阪市和泉市で「阪口喜一郎没後七五年碑前祭」が行われ二十七日の命日には広島で「記念のつどい」を開催。反戦機関紙「聳ゆるマスト」は戦前日本共産党史にも「侵略戦争に反対した輝かしい伝統を示すたたかい」とされ、呉市での最近の潜水艦陸上展示や大和ミュージアム開館の動きなどもあり、「反戦・平和のたたかいモニュメントの建

設を」の意見もよせられ、ここに「聳ゆるマスト」のたたかいを顕彰する碑を建設することを確認しました。DVD「聳ゆるマスト」作成で建設資金の一部を確保するなど、先人の不屈の偉業に負けないたたかいに挑む決意です。□座は ゆうちよ銀行 店番518 総合口座 記号15140 □座番号 27093971 一階堂洋史

### 映画「鶴彬(じる・あきら)こころの軌跡」上映運動へのお願い

映画「鶴彬」製作委員会代表 深井一郎  
普及・上映担当 平野寛

映画「鶴彬 こころの軌跡」は、昨年秋の撮影・編集をへていよいよ完成の運びとなりました。地元石川県で澤地久枝さんの講演とあわせ完成披露試写会が催され、四

月から全国上映運動を進めます。治安維持法によつて逮捕され、拷問によって死にいたらしめられたプロレタリア川柳人鶴彬ら多くの犠牲者の名誉回復と、反戦・反権力をつらぬいた鶴彬の生涯と作品に光をあて、現代の私たちに鮮烈なイメージとなることを願い、団体・個人を問わず上映運動をすすめていただくようお願いいたします。



安維持法によつて

### 事務局 日誌

- 1月7日 全労連会館新春昼食会
- 1月9日 「人権シンポ」実行委員会
- 1月12日 18日 ベトナム平和・連帯の旅
- 1月15日 国際人権活動日本委員会代表者会
- 1月21日 葛飾ピラ弾圧最高裁要請行動
- 1月23日 中央常任理事会
- 1月24日 「大きな県」の対策交流会
- 1月26日 日本国際法律家協会理事会

【訂正】本紙新年号「中央」版

10ページ五段目相沢良を語り継ぐ会の連絡先は青森市浪岡町長沼字北藤巻一七 五工藤方電話〇九〇一九三五 五三三二。「東日本」版8ページ「栃木県」の一木明法律事務所電話〇二八 六六〇五九一一。「西日本」版13ページ一段目「山口県」は二段目治安維持法同盟岡山県本部の後に訂正します。

2008年秋季号  
好評発売中

## 『治安維持法と現代』

同盟創立40周年  
記念特集号



【主な内容】座談会「戦後補償運動の発展と同盟運動の課題」吉岡古典・浜林正夫・近江昭二、語「戦前天皇制政府の戦争責任と政治責任」山田朗、「治安維持法犠牲者と語り合うつどい」大川芳夫・荒川次郎・西川治郎・永井潔・山下懋・松本五郎・菱谷良一・林直道・水谷安子・市吉澄枝、「戦後、日本の平和の進路を貫いた川上貫一」の不屈の闘い」橋本敦、「聳ゆるマスト」発行の阪口喜一郎の足跡を追って」小栗勉、「古川苞不屈の生涯示す新資料発見に寄せて」藤田廣登、「満州事変前後における愛知の反戦運動」佐藤明夫、「スペインの『歴史の記憶法』」吉田好一など学習材料が満載。A5版、定価1000円、送料60円、各都道府県本部でお求めを。

治安維持法と現代を結び総合誌

企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟